

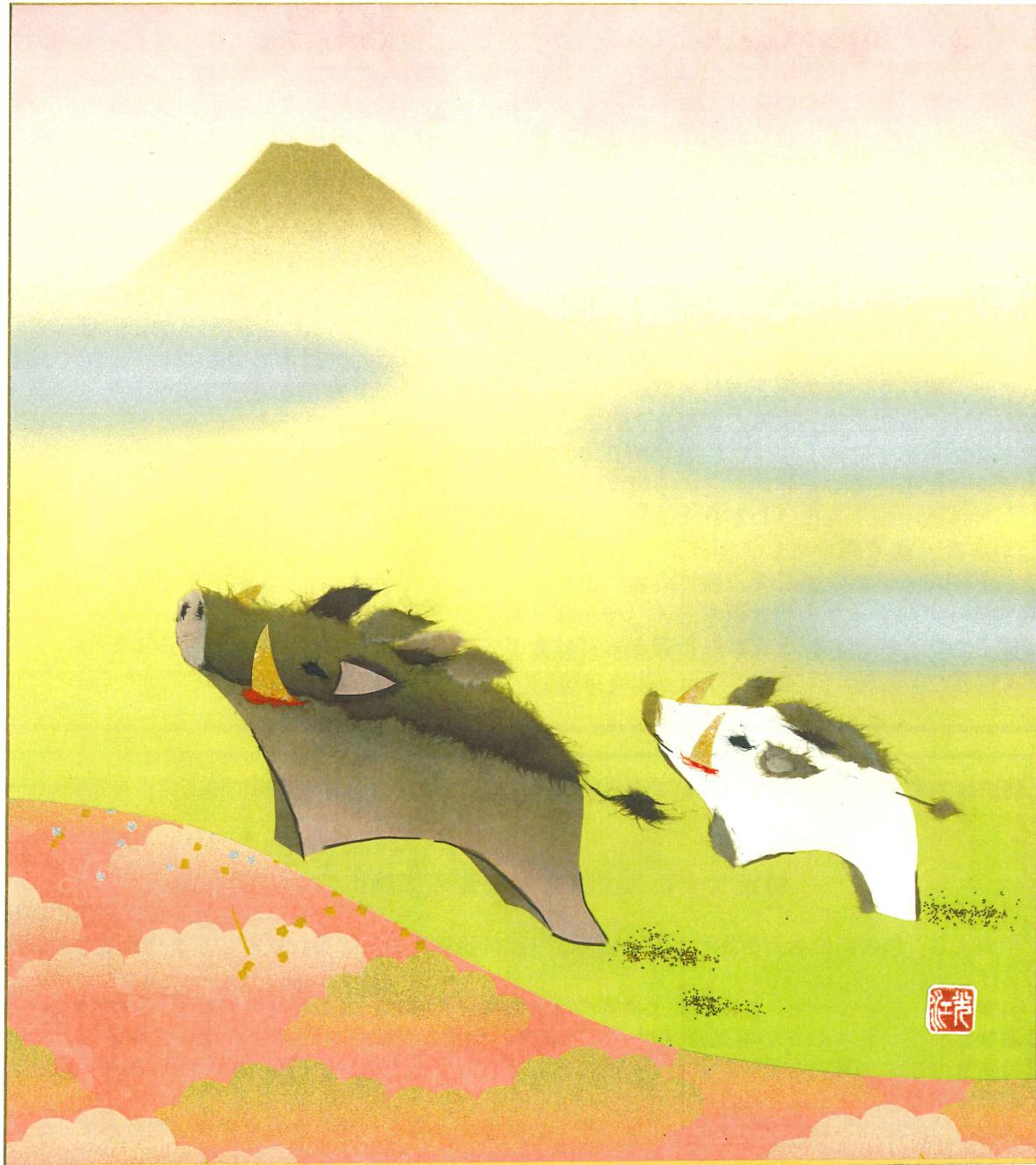


全日本私塾教育ネットワーク

## 私塾ネット広報

第65号(平成31年2月号)

初夢ややれ改革と猛進し  
(直人)



全日本私塾教育ネットワーク

センター事務局 鈴木 正之  
〒140-0014 東京都品川区大井1-54-6 いぶき学院内  
TEL:03-5743-7458 FAX:03-5743-7459  
Mail:center-office@shijyuku.net

理事長 仲野十和田  
TEL03-3963-5572  
広報部長 大住 明敬  
TEL048-957-8608

## 理事長コラム

理事長 仲野十和田(ナカジュク・東京都)



### 「平成最後の～」

というご挨拶が多くなりましたが、この広報誌も平成最後となりました。そして、最後の最後まで期日に間に合わせず、ご迷惑をおかけしておりますが、初代編集長の加藤実先生から始まり、今日の谷村志厚先生まで、手作りでここまでやつてこられたのは私塾ネットの財産です。お手伝いをしていただいた方々を含め、ここに感謝申し上げます。

というわけで、平成最後の受験となりました。各塾とも、生徒たちにとって、最高の受験の手助けができるよう、気忙しい時期をお過ごしのこととお察しいたします。さて、つい先日、自塾のある教室から保護者会で話をするように依頼があり、『受験生とのコミュニケーション』と称して、実施しました。そして、私の話が終わると1人の保護者の方が近づいてきました。その雰囲気から良くないことがあることは察しがつきました。

話の内容はこんな感じです。

～1月に2つの私立高校を受験した。1日おきだったので、真ん中の日は空いていて、その日は塾の日だったが、疲れていたことと翌日も試験だということもあって、母親が塾へ欠席の連絡を入れた。母親は教室長から息子に対して「○○君に明日の試験を頑張るように伝えてください」という言葉を期待していたが、教室長からは「わかりました」の一言しかなかった。横で聞いていた息子が「何か言っていた？」と期待を込めた感じで母親に尋ねてきたが、「何も言ってなかつたよ」と返すと、「やっぱり僕には関心がないんだね」と言われ母親としてはとても辛かった～。

翌日にもう1校の受験を控えていたこともあり、母親としてはベストの状態で臨ませたかったでしょう、さぞ落胆したことだと思います。もちろん親子共々そのようなことには負けない強い精神力を持って欲しいという思いはあります。ちょっとした言動が受験生へ大きな影響を与えるのだということを感じた出来事でした。その後すぐにその生徒とも会話をすることができ、その時にできる最善の対処はしましたが、このような思いは二度とさせたくないです。すぐに他のスタッフへシェアをしましたが、皆様にもご参考になればと思い、恥ずかしながらお伝えさせていただきました。

平成最後の私塾ネット全国研修大会は、何と3回目となる木下晴弘氏の登壇です。講座内容はとても工夫されていて、以前とは一味違うものが期待できます。実は昨年末に東京でセミナーがあるということで、参加しようと思っていたのですが、10日ほど前にHPを見たら、「残り僅か」と。「やばい！」と思い、問い合わせましたが、既にいっぱい参加することができませんでした。今は、業界問わず人気の木下先生です。余談ですが、以前木下先生の講演を聴いた当方のスタッフが、とても感銘を受け、その話のエキスはどこから来ているのかをお聞きしたところ、ある方を紹介され、今現在、私もその方から多くの学びをいただいている。ご興味があればご一読ください。木下先生の話に深みが出るかもしれません。

(『自分が源泉』 鈴木博著)

それでは、4月21日(日)、皆様にお会いできることを楽しみにしています。

経済産業省より以下の調査についての依頼が来ております。会員塾の皆様にはご協力をお願いいたします。

理事長 仲野十和田

### 特定サービス産業実態調査の実施についてのお願い

経済産業省大臣官房調査統計グループ長

平素より、経済産業省が実施しております各種統計調査の実施に当たりましては、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

当省では、特定サービス産業の売上高等の経営動向を把握し、景気動向の判断材料に資するとともに、産業振興施策、中小企業政策の推進及びサービス産業の健全な育成のための基礎資料を得ることを目的として、「特定サービス産業動態統計調査」を毎月実施しており、その結果は、GDP統計や第3次産業活動指標などの経済指標の基礎データ等広く活用されているところです。

また、「平成28年経済センサス一活動調査」の結果によると、我が国の全産業におけるサービス業を含めた第3次産業の割合は売上高で約7割、従業者数で約8割を占めるまでに至っており、サービス産業の動向の的確な把握はますます重要になってきております。

つきましては、本調査の重要性について御理解いただき、引き続き平成31年1月分以降の調査につきまして、貴傘下会員各位の御協力を賜りますよう、会報、会合等において御周知、御指導いただきたく何卒よろしくお願い申し上げます。

なお、本調査は、統計法に基づく一般統計調査として実施され、記入された調査票の内容についての秘密は厳重に保護されております。



## エリア東北 安藤水無子 (Andys・青森県)

平成最後の年が始まりました。5月からは新しい元号が始まります。何でも新しく始まることの大好きな私は、これからどんな年になっていくのだろうとわくわくしています。

昨年のエリア東北の活動は、4月の全国研修会へ参加しながら、東京でエリア東北総会を行いました。なかなか他のエリアでの研修会へ参加することが難しいため、年に1度のこの研修大会で全国の先生方にお会いしてお話を伺うことは、東北のメンバーにとって大変貴重な勉強の機会になっております。

9月には、昨年度に続き、エリア関東と合同で『STEP宿泊研修』を行いました。（合同とはありますが、関東の先生方にすっかりお任せで大変お世話になりました。）今回はまだ正式に私塾ネットの会員ではないのですが、八戸で塾を開業して2年目のあおば伸学塾の村戸公博先生も一緒に参加させていただき、学習塾の大先輩である先生方からたくさん学ばせていただきました。入会前にもかかわらず、仲野理事長はじめ参加された先生方には大変よくしていただきありがとうございました。（春から正式に入会して、4月の東京での研修会には一緒に参加する予定です。その時にはまたよろしくお願ひ致します。）村戸先生は昨年30歳になったばかりの本当に若い先生ですが、中小企業庁の青森県よろず支援拠点公益財団法人21あおもり産業支援センター（中小企業・小規模事業者の創業・起業・売上拡大・経営改善などを無料で相談、サポートしてくれる）を活用したり、塾のロゴのデザインもネットでデザイナーを募集して低価格で作成したりなど、今まで私が聞いたこともない方法で塾経営をされています。こちらが知らなかつたことを教えてもらうことも多く、大変刺激をうけています。

今年のエリア東北の活動も、できる限り様々な研修会・塾へ出かけていき、たくさんの先生方からお話を伺い勉強させていただくことから始めていきたいと考えています。

全国の先生方、  
今年もエリア東北  
をよろしくお願ひ致します！



## エリア関東 渡辺 浩 (渡辺塾・東京都)

2019年が明けてもう二ヶ月が経とうとしています。遅くなってしましましたが、先生方、明けましておめでとうございます。昨年は大変お世話になりました。本年もどうぞ宜しくお願ひいたします。

さて、昨年10月に全国学習塾協会主催の塾の日シンポジウム東京大会が神保町如水会館で行われましたが、その時のスローガンが『学習塾、これまでの30年、そして、これから30年』というものでした。「学校が太陽だとしたら、塾は月。日陰の存在、、、」これは今話題のNHKドラマ『みかづき』の中のセリフです。この当時の学習塾は今では考えられないほど厳しく、険しいものであったかと思われます。まさに言葉通り社会的にも日陰的な扱いを受け、悔しい思いをされた先輩の先生方は少くないと思います。

この30年で学習塾の存在意義は大きく変わりました。ただし、そこには先輩方の血のにじむような努力があったからこそ、今我々は大手を振って学習塾として存在していられるのです。子どもの多様化、個別化という事が久しくうたわれ、学習塾も色々な形態のものが増えました。ますますシステム化された学習塾が多くなっているような気がします。特段悪いわけではないのですが、本来の学習塾、いや私塾の役割は正にみかづきの言葉通り「月の存在」なのでしょうか。

平安期には月を見る事は忌む事といわれ、特に妊娠している女性が見るのは好ましくないという風習がありました。しかし一方で、月を愛でるといった和歌も見られますのは、月には人の気持ちを惑わす魅力があったからなのではないでしょうか。であれば、学習塾は太陽という学校とは違った角度で子どもたちに魅力を感じてもらわなければなりません。子どもたちは一人ひとり違いますし、その対応もひとり一人変えていかなければならないはずです。個人的にはこれからの30年、学習JUKUでなく、本来の私塾がすべき役割というものを考え、生徒一人ひとりと向き合って、寄り添っていきたいと考えます。これからも先輩の先生方には色々と勉強させていただく事が山ほどあります。今後も厳しく、また厚いご指導のほど宜しくお願ひいたします。





**エリア中国 佐藤 将紀  
(若竹塾・広島県)**

**中国エリア 2019年の抱負**

**■田中 達朗【あさひ塾】**

あさひ塾 田中です。今年で62歳。明るく元気で頑張ります。よろしくお願ひします。

**■林 恵美子【E-juku はやし塾】**

ことしの目標「楽しく心動く授業作りの工夫」生徒の自己肯定感を高めて、言いたいことをきちんと自己表現できる生徒に育てたいです。他者否定され自信を失った生徒を「はやし塾なら自信を取り戻せる！」いつの間にか成績も上がっている！そんな塾を目指して猪突猛進です。

**■富田 剛史【宇部進学教室】**

今年も、生徒と保護者と職員の満足度向上を目指して、業務に取り組んでまいります。生徒・保護者に対しては学力の向上と目標達成の喜びを感じて頂くとともに、職員に対しては働き方を見直し、メリハリのついた業務を行えるようにします。

**■増井 佐世子【学習サークルTerra】**

本会加入戴き、2度目の春を迎え、様々なご厚誼を賜わり、無我夢中の日々を過ごしています。『Kids Brain福山校』を開校します。幼児童特化教育を実践します。益々の御指導、御支援の程宜しくお願ひ申し上げます。

**■影山 昌秀【駿英】**

新年あけましておめでとうございます。来年度から鳥取県西部に浪人生を支援するNPO法人予備校が設立いたします。同じ浪人生を預かる予備校として良きライバルが現れたことに身が引き締まる思いです。初心を忘れず、かつオーブンリーチの攻めの気持ちで今年も尽力していきます。

**■田中弘樹【田中学習会】**

創業以来の「生徒のためにどこまでも！」というマインドを大切に持ちながら、働き方改革や法律に則った勤務時間で成果を出す仕組み、新卒の社員が定年まで胸を張って安心して働く会社を築いていきたいと思います。

**■西川 敏博【ノーベル学習館】**

今年も共に学び共に育ちながら「行きたい学校」に進学し「やりたい仕事」で社会に貢献する。そういう子どもたちを育てられる地域の塾であり続けられるよう、全職員一丸となって邁進します!!

**■西本 雅明【パワーゼミ西本塾】**

今年は全国学習塾協会の全国大会を倉敷で開催します。なんとか参加の方々に喜んでいただけるような大会になるよう努力するつもりです。皆様、楽しい会になりますので、どうぞお越しください。

**■平岡 文夫【平岡塾】**

おめでとうございます。新年を迎えて今年こそ充実した一年を過ごそうと心に決めています。しかし毎年思

い通りにならない年が過ぎます。健康に注意しながら明るく元気にがんばります。

**■吉長 あけみ【吉長塾】**

今年、8月で70歳になります。昨年は40周年を迎えて、生徒・保護者・スタッフに改めて感謝した年でした。今年も生徒の成長のお手伝いをしながら、生徒からのエネルギーをもらい頑張っていきたいです。生徒の成長が私の生きがいです。

**■高橋 博【若竹塾】**

今年は2020年度からの本格的な入試制度改革に向けて、待ったなしの準備期間になると思います。スタッフとともに生徒のために、有益で魅力的な授業を作りあげていこうと思っています。



**エリア中国新代表ごあいさつ**

**西本 雅明(パワーゼミ西本)**

この度エリア中国の代表になってしまった西本です。とても代表という柄ではありません。どちらかというと、横つちょでヘラヘラしているのが心地良いタイプなので、務まるのかどうか心配です。私塾ネット史上「エリア代表への辞任勧告」というのは、聞いたことがありませんが、新年度のエリア中国では可能性があります。僕は平気ですので、おかしな言動を発し始めましたら、ぜひ全力で止めてください。しかし、なってしまったからには僕のレベルで申し訳ないですが、精一杯役に立つ情報を発信出来るように頑張りたいと思いますので、いきなりの「辞任勧告」だけは、勘弁してください。褒められれば意外といい仕事をするかもしれません。(残念ながら、そういう経験はまだありませんが)「しばらく泳がせて様子を見る」という作戦でお願いいたします。

さて、僕の塾の変なところをご紹介いたします。山間部の県立高校で過疎対策として公設民営塾を運営しているところが、少し珍しいかなと思います。広島県の山間部では大学進学を考える生徒は下宿して都市部の高校へ通います。地元の学校では大学受験は無理だという判断です。ですから地元の高校には大学に行こうと考えている生徒はほとんどいません。そして益々過疎になり統廃合の危機に瀕するということになります。その負のスパイラルを打破するために学習塾に大学受験の講座を委託し、地元の県立高校でも十分大学進学ができる体制を整えて、優秀な生徒の都市部への流出を防ぎたいということになります。県教委には過疎対策なんて予算はありません。そして、もともと過疎を食い止めたいのは、その地元自治体ですから、自治体から予算が出ます。教室では結果を出し、高校の教職員と情報交換をしながら仲良くし、町には毎月報告書を提出し、「もうやめたい」と思いながら5年が過ぎました。

その自治体には町立中学が2校あります。町の教育委員会では中学の中にも公設民営の塾を設置し、学力の底上げを図りたいそうです。幸いなことに僕の塾を「いい塾」と勘違いなさっているので、ばれないように結果を出していきたいと頑張っています。こんなことが日本全国で起こっているようです。興味のある方はぜひ調査をしてみてください。



**エリア四国 近藤 誠介**  
**(文化の森スクール・徳島県)**  
 右の表は、本年度、センター試験（900点満点）の各県別5教科7科目の平均点の順位表です。わが徳島の平均点は521.7点で、47都道府県中45位です。10年以上、40番台が続いており、昨年度に続いて、2年連続45位となります。高学歴が良い、という気は毛頭ありませんが、本県の現状をみていると、教育環境ゆえに伸び悩む、否、教育に関わるものが本当に伸ばす気があるのかと疑ってしまいます。本来、生徒の才能を少しでも花開かせるのが目的なはずなのに、何とかの都合の方が優先されてしまっているのでは。

また、本県は小中高生徒数1000人あたりの塾の割合は全国で2位です（1位和歌山県、3位香川県、4位愛媛県）。それゆえ、この最悪の状況を学校だけの責めにはできません。余りに、この状況が続き過ぎて、県全体が“ゆでガエル”状態に陥っています。教育を疎かにするところに、未来はないと思うのですが。

ところで、トップ東京の平均点は669.0点で、それは岡山大、広島大のボーダーラインに匹敵します。全国平均は、13位の愛知に相当します。上位は、ほぼ大都市圏です。もちろん、都会の子が全部できるわけではなく、都会で国公立大を狙う生徒は優秀ということでしょう。ただ、国公立大を目指すということにおいては、同じ土俵なので、都市部と地方の学力格差が大きいといえます。実際、東大の地方からの合格者はあきらかに減っています。

### センター試験平均点県別ランキング

順位	都道府県	平均点
1	東京	669.0
2	神奈川	659.6
3	奈良	653.6
4	千葉	633.5
5	大阪	628.1
6	京都	626.4
7	兵庫	615.6
8	埼玉	615.4
9	滋賀	603.4
10	群馬	585.9
11	北海道	585.7
12	香川	584.9
13	愛知	583.9
	全国	583.4
14	宮城	576.8
14	和歌山	576.8
16	静岡	576.7
17	長野	575.3
18	福岡	575.2
19	三重	573.5
20	山口	572.7
21	岐阜	570.8
22	沖縄	567.1
23	福井	566.3
24	新潟	562.4
25	山梨	560.6

昨年、行われた共通テストの試行テストでは、数学理科は30点台が多くありました。この2年間で対策をたてないと非道いことになります。恐いのは、英語ではなく、本当は数学です。対策をたてられるところと、そうでないところでは、大きな差となってあらわれるでしょう。都市部と地方の差が、増え、大きくなるのでは。塾の役割が、ますます、問われるのではないかでしょうか。

### 平成31年度全国塾コンソーシアム協議会臨時連絡協議会報告

中村直人（私塾ネット副理事）

平成31年1月22日（火）市ヶ谷のアルカディア市ヶ谷7階白山において、午後1時より全国塾コンソーシアム協議会の臨時連絡協議会が開かれました。全日本私塾教育ネットワーク仲野十和田理事長の代理として私が出席いたしました。

参加代議員は8団体8名（2団体欠席）、オブザーバー2名、事務方2名の計12名で行われ、公益社団法人全国学習塾協会会长の安藤大作先生が議長を務められました。

今回オブザーバーとして参加された民間教育連盟の森本一會長の提言・意見をお聞きし、その中の、今年10月に予定されている消費税10%へのアップに対し、教育機関の団体として経済産業省へ8%消費税据え置きの要請をどのようにしていくのかという点、また今年の参議院選挙におけるコンソーシアムとしての対応、塾会館建設について、団体として塾業界の功労者への叙勲の件等が主に話し合われました。

本年度夏に行われる参議院選挙において、コンソーシアムとしては、塾をバックアップして民間教育の声を国政に届けてくれる議員の先生方を応援するということで一致し、〇〇党ということにかかわらず、平素お世話になっている先生方の具体的なお名前を会員に示し、よろしくお願ひしようという形となりました。

コンソーシアムの事務方から、平成31年度定期総会が4月6日（土）14:00～17:00 主婦会館プラザエフ4階「シャトレ」にて開かれること、10月14日（月）の塾の日シンポジウム2019倉敷大会の前日にコンソーシアムの会議が開かれる旨が伝えられ、散会となりました。

# 全日本私塾教育ネットワーク（私塾ネット） 「第17回 全国塾長・職員研修」

～笑顔は人を幸せにする最高の薬です。～

## 木下 晴弘先生『想いを深める』

～未来につながる授業術～

平成31年（2019年）4月21日（日）  
「東京ガーデンパレス」

昨年は蓮池薰先生。日本人として絶対に聞かなければならぬ、北朝鮮に拉致された生々しいお話をと、今後の対応についてお伺いしました。

今年の私塾ネット全国研修大会は。。。

木下晴弘先生を再々度お招きします。木下先生を私塾ネットでお招きするのは3回目。私塾ネットらしいその場限りにならない継続の学びです。教育・学習塾への思いを深め、明日からの授業技術に役立つ研修会にいたします。

13年前の2006年（H18）4月23日。第5回全国研修会『感即動 感動が人を動かす～生徒が感動する授業の創り方～』。木下晴弘先生が初めて関東で研修会をなさった日です。

ここから木下先生の関東での勉強会が始まります。この年は千葉で5回。奥深い勉強をさせていただきました。「経営品質」「自分が源泉」「ビジョナリーカンパニー オアの抑圧とアンドの思想」「ピートグレイ」「木村秋則さんの奇跡のり

んご」「幸せの法則」「笑顔は人を幸せにする最高の薬」。。。すべてここが出発点です。個人的にはこの前年、木下先生の勉強会のために大阪まで10回通いました。始発の新幹線に乗り午前10時から午後12時30分まで研修。夕方の授業に戻るという素敵な1年でした(^。^)。そして、この14年間。木下先生のご講演に基づいた塾経営を行ってきました。

世の中のスピード、サービス度の向上。まさしく木下先生がお話ししてくださった通りになってきました。今回は他業種にもコンサルしている木下先生に、あらためてこの14年間の世の中の変化を伺い、さらに深めていくためには何をすればよいのか、またそのために役立つ教育技術について思う存分に語っていただきます。

4月21日（日）東京、お茶の水！ お待ちしております！

私塾ネット研修部長 田中宏道

### プ ロ グ ラ ム

第一部 研修大会 4月21日（日）

開場 午後1時30分

大会 午後2時00分～5時50分

①『オープニング』（45分）午後2時00分～2時45分

オープニング 映像で贈る「私塾ネットこの1年」

- ◇ 主催者ご挨拶：私塾ネットセンター理事長：仲野十和田（東京・埼玉：ナカジユク）
- ◇ ご来賓祝辞（私学代表、学習塾代表、協賛企業代表）
- ◇ 各エリアからの出席者紹介、そして、エリア代表からお一言
- ◇ 名刺交換、軽くアイスブレイク「自己紹介&G.N.S.T」、ご連絡

②木下晴弘先生 ご講演（90分） 午後3時00分～4時30分  
『想いを深める～未来につながる授業術～』



1965年、大阪府生まれ。

同志社大学卒業後、銀行に就職するが、学生時代大手進学塾の講師経験で得た充実感が忘れられず、銀行を退職して同塾の専任講師になる。

生徒からの支持率95%以上という驚異的な成績を誇り、多数の生徒を灘高校をはじめとする超難関校合格へと誇る。

その後、関西屈指の進学塾の設立・経営に役員として参加。「授業は心」をモットーに、学力だけではなく人間力も伸ばす指導は生徒、保護者から絶大な支持を得た。

以後10年間にわたり、講師および広報・渉外・講師研修など様々な業務を経験。

現在、株式会社アビリティトレーニングの代表取締役として、全国の教育機関で、教員・保護者・生徒向けのセミナーを実施している。そしてそのセミナーは様々な分野の各企業からも注目され、いまやセミナー受講者は330,000人を超える。

#### <主な著書>

ココロでわかると必ず人は伸びる できる子にする「賢母の力」	総合法令出版
涙の数だけ大きくなれる！	PHP研究所
人生が180度変わる幸せの法則	フォレスト出版
しあわせの教科書	総合法令出版
学校では教わらなかった人生の特別授業	アーチーブメント出版
	フォレスト出版
シグマベスト 高校入試合格へのベストアプローチ数学 [図形]	文英堂
シグマベスト 高校入試 ズバビタ数学 図形	文英堂

### ③『深める。「木下晴弘先生のお話を聴きまして』』（45分）

午後4時45分～5時30分

発表・傾聴・質問「木下先生のお話を聴いて」

～これまで何をし、今後何をしていくのか？～

### ④『ふりかえりと感謝』（20分）

午後5時30分～5時50分

私塾ネット各エリアなどから発表と謝辞

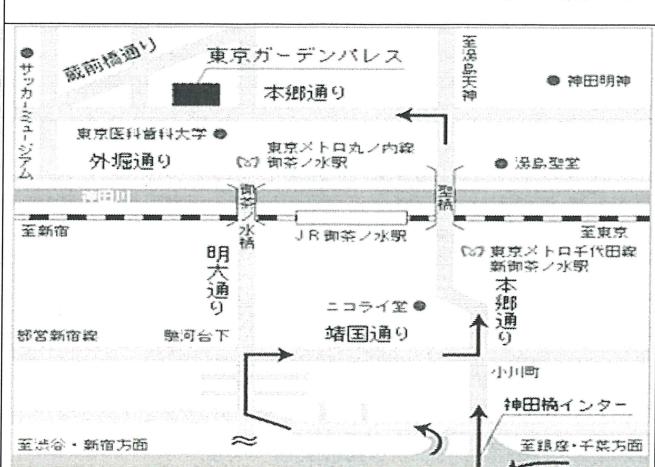
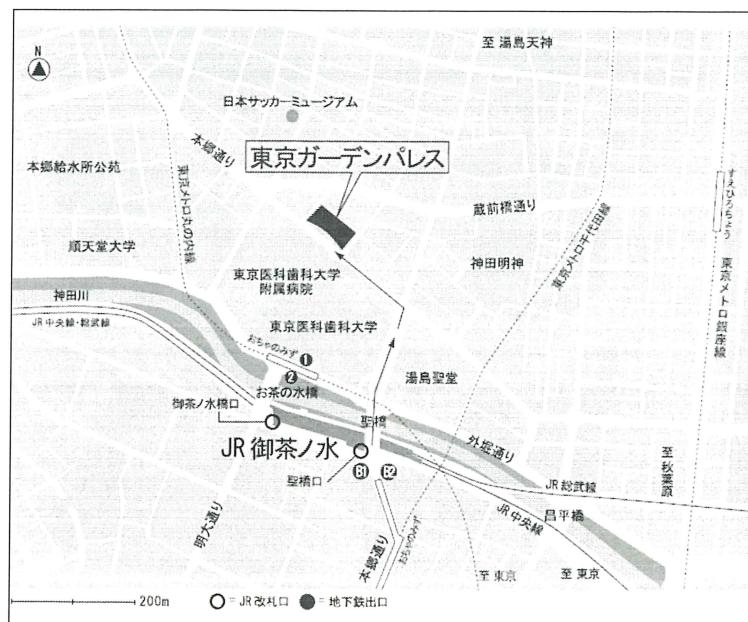
## 第二部『懇親会』 午後6時15分～8時15分

熱気あふれる第一部に引き続き、第二部ではお食事をしながらさまざまな意見交換・情報交換をいたしましょう。

- ◇ 主催者御礼およびご挨拶： 私塾ネットセンター理事長：仲野十和田 （東京・埼玉：ナカジュク）
- ◇ 乾杯
- ◇ ご来賓祝辞（政界代表、私学代表、学習塾代表、関連企業代表）
- ◇ 皆さまより、お一言ずつ
- ◇ 私塾ネット エリア便り
- ◇ デジタル富くじ！ 日本全国、地方色豊かなおみやげを(^o^) & お一言。

会場：東京ガーデンパレス (TEL03-3813-6211)

- JR中央線・総武線「御茶ノ水駅」聖橋口（東京駅寄りの改札）より徒歩5分
- 東京メトロ千代田線・丸の内線「新御茶ノ水駅」より徒歩5分





## 私塾ネット四国“秋の懇親旅行”「南国土佐」の一日

2018年11月11日・高知市「土佐御苑」

神野 一子（神野進学教室）

今年の私塾ネット四国の“秋の懇親旅行”は南国土佐が舞台でした。11月11日（日）、高知市の老舗ホテル「土佐御苑」に、私塾ネット関東から仲野理事長をはじめ、田中弘道先生、長江広紀先生、デザインオフィスズキの鈴木学氏が、私塾ネット中国からは佐藤将紀先生、西本雅明先生、坂本一成先生が、おいでくださいました。そしてなにより今回は、高知の先生方がご参加くださいました。土佐ゼミナールの岡田正隆先生、中越佐知先生、慶太塾の辻慶太先生、桜美学院の山本先生、Y G K進学塾の吉川恵子先生、華子先生、大津塾の山脇先生など、普段はお会いすることができない先生方に、会って話をさせていただき本当に刺激を受けました。

さて第一部、懇談会は、寺嶋先生の司会で始まりました。

まず、湯口先生は、少子化が進む現在、募集がますます厳しくなっている状況で、いかにして地域の人たちに、私たちの存在や活動を知ってもらうかが重要であると問題提起されました。湯口塾では、生徒達の持つ情報を有効に活用して、広報活動に役立てておられるそうです。

広報活動と言えば、新聞の折込チラシがこれまでの定番で、大手塾は相変わらず大量に折り込んでいます。それに対してデザインオフィスズキの鈴木氏は、私たちの主要ターゲットである、保護者が30代のご家庭の新聞購読率は7%しかないことを指摘され、折込チラシの有用性に疑問を投げかけられました。それもあってでしょうか、SNSを使った広告・宣伝に取り組まれている先生方も多いようです。長江先生のフェイスブックを使った広告・集客や丸橋先生のツイッターの利用のお話を伺って、SNSを使った広告・宣伝について真剣に考えなければならぬ時期に来ていると実感させられました。

次のテーマは、高知のY G K進学塾の吉川先生が指摘されたように、いかに地域に密着した塾運営を行っていくかでした。これについては慶太塾の辻先生のお話が印象的でした。辻先生は、地域で塾の熱烈なファンを作っていくことに心を砕かれています。そのために、月に一回、ご自身の思いや教育理念を綴った塾通信を月謝袋に入れて配布しているそうです。これは、辻先生からのご家庭に向けたラブレターなんだとおっしゃっていました。また辻先生は、塾運営にストーリー性を持たせる重要な話をされました。

さらに、このテーマは、仲野先生がお話をされたように、地域の保護者・学校・塾がどのようにして連

携していくかという問題につながっていくと思います。

他方で当たり前のことが大切さも考えさせられました。田村先生は、生徒の成績を上げ実績を出すことで、地域の人たちの評価が得られると指摘され、山田先生は眞面目に取りくめば、評判が上がると言いました。田中先生がおっしゃられたように「授業内容を含めた中身の評判を作る」ことが、これから課題です。

最後に、若竹塾の佐藤先生がおっしゃっていたことが印象に残りました。「授業料が、自動引き落としや振り込みになって、授業料をいただいている有難さを忘れていないか、私たちはそれを忘れてはいけない。」肝に銘じたいと思います。

いよいよ、第二部は舞台を大広間に移しての懇親会です。

目の前には、土佐名物の皿鉢料理が並びます。おいしい料理に舌鼓を打っていると、お待ちかね「カツオのたたき」の登場です。「カツオのたたき」には、やっぱり徳島名物「すだち」が断然合います。これは近藤先生が、わざわざ持ってきてくださったものでした。

宴もたけなわ、慶太塾の辻先生が、おなじみの「南国土佐を後にして」で美声を披露してくださいました。

そうこうしているうちに、前方のステージでは、「土佐御苑」名物の「うげうげ踊り」が始まりました。「うげうげ踊り」は、「よさこい踊り」と「しぶてん踊り」をミックスしたもので、なかなかの迫力です。みんな大盛り上がりでした。

でも、踊りといえば、やっぱり「阿波踊り」です。「うげうげ踊り」で、芸人魂に火がついたのでしょうか。近藤先生と木内先生が、前方ステージで「阿波踊り」を踊り始められました。これが上手い。

「踊る阿呆を見る阿呆。同じ阿呆なら踊らにやそんそん」

あつという間に、南国土佐の夜は、更けていきました。

最後になりましたが、今回の「秋の懇親旅行」を企画し、高知の先生方との連絡等、準備に尽力されたエリア四国代表近藤先生、相変わらずの名調子で司会をされた寺嶋先生、そしてなにより会場の土佐御苑を手配してくださった熊野先生、お疲れさまでした。そして、楽しいひと時を本当に有難うございました。



# エリア関東・第36回私学情報交換会

## 平成30年12月9日・ナカジュク板橋教室



桂馬 辰尚

(桂馬ゼミナール・東京都)

12月9日、今年もナカジュク板橋教室をお借りして、36回目の情報交換会が行われました。今回は都内4校の女性の校長先生に御出席頂き、女性として私学教育を歩んで来られた足跡を、自由に語って頂こうという企画で行いました。



御出席頂いた4校の校長先生をご紹介すると、トップバッターは跡見学園中高等学校の松井真佐美先生。先生は池袋出身で姉妹で跡見に入学。理科大学で応用数学を専攻。高校までパソコンに触れたことがなかったそうですが、大学でプログラミングを学ぶ。一旦企業に就職。結婚・出産で退職後、母校から誘われ、教師の道へ。25年間現場一筋。そして3代目の女性校長になられたそうです。女子校の魅力。それは自分の役割を見つけられること。跡見の名物、文化祭の階段装飾。生徒会がボランティアを集め仕上げる。そこで達成感を体験する。そして跡見の教育で本物に触れる教育を紹介されました。山登りでの厳しい自然体験。芸術分野での雅楽鑑賞。又、各界で活躍する卒業生の話を聞く会など。特に大学に入学してから進路を変え医大へ入学した跡見生の姿を紹介。話の中で、後からたくましさがついてくるうちの卒業生の力は、すばらしいと話されていました。

二番手は日大豊山女子中高等学校の柳澤一恵先生。3年前に校長着任。男子校の豊山に30年在籍され、その時代「男の中の男」と言われるくらい恐れられたそうです。「私は黒船。私は変わるから」の言葉とともに、多くの改革を実行。先生の考える女子教育は「女性の進路はこれでいい、女性はこうあるべきということは無い。知らないから選ぶのではなく、視野を広くして選んで欲しい。1回失敗してもあきらめるのではなく、新しい自分を見つけてさらに一歩進んで踏み出す力を持って欲しい。いろいろなことにチャレンジできる、たくましい女性に育て、社会に送り出して行きたい」と語られました。先生のお話は黒船から打ちはなたれた弾丸のように強くたくましく、邁進しているように説得力がありました。



三番手は北豊島中高等学校の河村恵子先生。校長として週11時間の授業を持たれているそうです。茨城県出身。先生が在籍されていた高校は学年600人を有する大規模校。そんなキャンパスの中で目立たない生徒であったそうです。今の北豊島は一人一人の生徒の顔と名前がしっかりとわかるし、生徒たちとの会話は実際に楽しい。自分の学生時代と比べると大きく違うと話す河村先生。中学の時、ピアノを買ってもらい、大学で英語を学ぶ。卒業してすぐに結婚。御主人の学校に短期で勤めたものの、3年も続いてしまう。単に授業指導だけではおもしろくない。生徒たちと触れ合いたい。できれば担任になりたい。縁があり非常勤で北豊島へ。「今は生徒たちから相談を受けるのがとても楽しい」と話す河村先生は多忙の中ですが、今こそ充実されている感じがしました。



ラストは日本女子体育大学付属二階堂高等学校の野澤澄枝先生。中学から新体操をされていて、当時体操といえば藤村か二階堂。自宅のある浦和から近い二階堂へ入学されたそうです。大学卒業後、母校の二階堂へ。教員43年、大学を含めると半世紀だそうです。女子校なのに男性校長ばかりと思っていたら、自分に番が回ってきたと話す野澤先生。母親は仕事があつても、手を抜かない。教員をされながら、自ら弁当を作つて子供を育てられ、二人の娘さんも立派に社会へ。ダメ、ムリ、できないは生徒に使わせない。チャレンジすることを考える。子供と一緒に何かをする。「私は、校長になり授業を持たせてもらえないで、毎日授業を見に行く。校門の掃除をしていると、生徒がその様子を見て手伝うようになる。そして教師は、生徒の見本にならないといけない」と話す野澤先生。バリバリがんばる校長先生の話から私もがんばらなくてはと元気を頂きました。



懇親会は恒例となりました板橋教室近くの某中華料理店で開かれました。まずはベストメニューである羽根つき餃子とビールで乾杯。出てくる数多くの美味しい中華料理を満喫しながら、アットホームな雰囲気の中で歓談が続きました。お忙しい中、私学の先生、塾の先生方、今年もお集まり頂きありがとうございました。

懇親会は恒例となりました板橋教室近くの某中華料理店で開かれました。まずはベストメニューである羽根つき餃子とビールで乾杯。出てくる数多くの美味しい中華料理を満喫しながら、アットホームな雰囲気の中で歓談が続きました。お忙しい中、私学の先生、塾の先生方、今年もお集まり頂きありがとうございました。

## 塾・現場報告その④

柿崎 純

(個別指導Axis観光通り校・青森県)



### はじめに

個別指導Axis観光通り校責任者／オーナーの柿崎です。当校はフランチャイズ塾です。そのため、フランチャイザーのルールに則った運営をしなければなりません。ただ、わたくしは元フランチャイザー社員でしたので、ある程度自由に運営することができます。直営校として開校したのは2003年ですが、地域にはまだまだ名前が知られていないのが実情です。そこで、少しでも名前を知ってもらうべく、日々活動を行っています。今回は当校の活動について報告させていただきます。

### ターゲット中学校前への看板設置

当校の会員生が一番多く通っている中学校の正門前に、当校の名前を大きく書いた看板を設置しました。日頃の集客活動として、ポスティングと校門前チラシ配り、インターネット広告を行っていますが、名前を知ってもらうためにはターゲット中学校付近に看板を設置して少しずつ名前を知ってもらうのが一番だろうと考えてこのようにした次第です。会員生に対して看板のことをアピールしていませんが、一部の会員生からは「看板が立っていた」との報告がありました。思ったよりも看板が目立っているようです。少しでも名前を知ってもらえばと願っています。

### 小論文対策スタート

ある日、高3会員生から「志望理由書の書き方を教えてほしい」と言われました。推薦入試を受験するためとのことです。学校からの指導の有無について尋ねましたが、何も指導がないとのことでした。そこで、僭越ながら、志望理由書の書き方指導を始めました。当校では専門職大学院で受けた論文指導をベースにした添削を行っています。添削の際には、会員生の書いた原稿を頭ごなしに否定するのではなく、このような原稿を書いた経緯を聴き取りつつ、望ましい書き方を少しずつ伝えるようにしています。一方で、いずれ会員生は学校の先生にも原稿を見せなければならないと思われますので、学校の指示を優先するようにと伝えています。何度も書き直すことで、それなりの原稿が仕上がるわけですから、まずは実際に書くようにと日々伝えているところです。

### 三者面談実施中

当校では三者面談を年3回行っています。10月は第

2回め三者面談を行う月となっていますので、本稿を書いている今まさに面談を行っているところです。学習状況の報告とこれからの学習状況の方針についての説明、ご家庭からの要望の3点を基本に実施しています。従来は保護者懇談会形式で行ってきましたが、当校を運営するようになってからは、会員生本人も面談に交えたほうがいいだろうと考えから、このような形式を取り入れています。この形式を導入した当初は、相当の反発がありました。「どうして三者で行わなければならないのだ」とです。誰から言わされたのかというと、会員生本人からです。反対に、保護者の方からはこの形式にしてから好評を得ています。確かに会員生からすると、三者面談は相当緊張するようです。ただ、会員生本人が同席することによって、会員生本人と保護者、当校で学習方針を共有することができますので、このスタイルを継続しようと思っています。

### 友人紹介についての一考察

2018年度になってから、友人紹介について思うところがありますので、現場報告として述べさせていただきます。「確実に入会するのは友人紹介によるものだから、友人紹介キャンペーンを行うように」と、学習塾でアルバイトを始めたときから言われ続けていますが、当校に限って言えば、友人紹介からの入会はほとんどない状況です。「お友達から紹介された」ということで問い合わせを受け付け、事前面談をして体験授業を受けてもらい、指導報告を行ってクロージングをするのですが、ほとんど入会しません。いろいろ調べてみると、「お友達から紹介された」というのはあくまでも言葉だけのようです。実際は、「お友達」という関係ではなく、ただ単に会員生から『どこの塾に通っているか』をそれとなく聞いて、『Axis観光通り校』と返答があったから、特に考えることもなく問い合わせた」とのことです。問い合わせの際には、その言葉に隠されているウラの意味を把握しなければならないということを改めて認識しているところです。

### 終わりに

以上が報告内容となります。個別指導Axisの名の下で運営をしていますが、わたくし自身は個人事業主として日々楽しく取り組んでおります。会員生と保護者、指導者をはじめ、当校に関わる方々にとって「当校に関わって良かった」と思っていただけるよう、私塾ネットの先生方からの指導を受けながら自己研鑽し続けます。これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。



## 私立中高＆塾の情報交換会・和洋国府台18階の会

山本かつ（いぶき学院・東京都）

2018年11月10日、母校である和洋国府台で毎年開催される私立中高と塾対象の情報交換会に、広報センター長の太田先生から鈴木と私に招待のお声をかけていただき私が参加しました。

18階のラウンジで素敵な夜景を見ながらの会でした。「丘の上の建物で、地上との高低差がかなりあるようで、普通の18階より高く見える」と、広報センターの女性の方（自分より1, 2学年下の卒業生！）からお聞きしました。

その方のお話によると、高校は私たちの代の生徒数は1学年800名、全校で約2000名近くでしたが、時代が変わり中高合わせても人数が減ったということです。しかし、職員室も同じスペースになったため、先生方の間で生徒さんの名前がすぐわかる位にアットホームな良い雰囲気だそうです。そして「太田先生を見てもらえば、それがこの学校の雰囲気だ。」とおっしゃっていました。

今回私たちをお誘いして頂きました、太田先生は去年まで校長先生で、定年後も広報センター長として勤務されております。太田先生との交流は、私が大学生の時、教育実習で同じ教科の研究室でお世話になったのがきっかけです。その後『私塾ネット』のイベントで再会し交流が続いております。



今回の会は、12回目だそうで、私立学校さんは募集活動、我々学習塾は定期試験前の対策等で多忙の時期にも関わらず毎回多くの方がいらっしゃっています。パーティの担当者の方がおっしゃっていましたが、今回以外でも、太田先生主催のパーティが数回続いているとのこと。太田先生の素敵な人柄が多くの人々を魅了されているのだと実感しました。

私も太田先生のような、どんな方々でも歓迎できる、温和な先生になれるよう精進したいです。

## 眠れなくなるほど面白い <図解> 数と数式の話

全世界の共通言語である数と数式で数学的思考を磨く！

数学には2つの顔があります。生活に役立つ「実用面」と神秘的な「美しさ」。基本の記号や計算式から、科学、物理、経済まで様々な分野に広く応用、活用されている数式、生活に密着した「便利な」数式まで紹介した、最強ツールとして使える「数学センスを磨く」一冊！大好評の『図解 数学の定理』に続く、数学の面白さを紹介した楽しく生活に役立つ1冊です！

監修者：小宮山博仁

体裁：A5判 128ページ／2C

定価：810円（本体価格750円+税）

発売日：2018年11月28日

コード：ISBN978-4-537-21638-7

私塾ネット名誉会員、小宮山博仁先生の新刊が出ました。前作の「図解・数学の定理」と同様、先着5名の方にプレゼントします。申込は編集部（AIM谷村）までどうぞ。

FAX047-368-2189 または Mail t-shiko.1949@aim-net.co.jp

新刊プレゼント！！

**図解 眠れなくなるほど面白い  
数と数式の話**

教育評論家 小宮山博仁 監修

名刺やカードも実は美しい 黄金比？

$2:x=(x-2):2$

$n!=n \times (n-1) \times (n-2) \dots$

$3 \times 2 \times 1 = 12 + 4 \times 3 = 4!$  がなぜ正解？

資産が倍になるには？ 利率が簡単にわかる数式

$2A = A(1+r)^N$

72÷年利=元金×2になる年数

干支や曜日を調べる方法

$365 \div 7 = 52 \text{ 余り } 1$

西暦÷12の余り+9

数学的思考を身につければ 身近な事象に新たな発見！

日本文芸社

# 民間教育推進のための自民党国會議員連盟 第3回総会 民間教育団体連絡協議会設立記念パーティー

中村 直人(私塾ネット副理事)

平成30年10月26日衆議院第2議院会館にて、民間教育推進のための自民党国會議員連盟 第3回総会が開催されました。参加者100名弱。11時開会。

## (1)議員連盟会長 下村博文先生ご挨拶

第4次産業革命ソサエティ5.0という中で、時代の変化に対応して民間教育がさらに果たすべき役割は何なのか。学校教育だけではできない(民間教育)オールジャパンの中でそれぞれが力を合わせて教育立国を。少子高齢化の中また資源のないわが国においては人材育成・人づくりしかない。しかし今までの人づくりでは通用しない。産業構造の変換がなければ多くの仕事がAIに取って代わられ10年経ったら半数が失業するかもしれない。画一的・暗記記憶中心の学習から、クリエイティビティ・ホスピタリティー・マネジメントスキル等AIに代替できないような能力を身につけることを教育の中でしていく必要がある。公教育と共に民間教育も力を合わせ、役割を担っていけるよう応援していきたい。

## (2)団体からの要望

公益社団法人全国学習塾協会会長 安藤大作氏が7つの要望を提出されました。①学校外教育バウチャー制度の創設②学校教育への外部講師積極登用【学校内で】③学校教育への外部講師積極登用【学校外で】④校外活動の評価の記録・充実⑤民間教育事業者による公共施設利用の促進⑥学童保育事業への支援拡大⑦学校等の過度な部活動などの見直し促進

## (3)役所からの説明

それらの要望をふまえ、各省庁:経済産業省・文部科学省・厚生労働省から順次それらへの回答や現在の取り組みのプレゼンがありました。厚労省:⑥は提案として受け取るがまだ考へてはいない。文科省:①一部やっているが、①を全国的に行うには、財源確保の問題がある。②すでに行っている所はある。③これから研究する。その他、⑥国側の教える・使える資格がなければ無理な面もある。⑤公共施設も多くは市町村

の管轄下であるのでそちらとの相談が必要。⑦部活なども通達はしているが、まだ周知徹底の必要があるなど。以上ほんの一部を紹介しました。

## (4)質疑・意見交換

各省庁側の資料から、安藤大作氏や全国学習塾協同組合理事長 森貞孝氏がいくつか質問をされ、それに対し各省側からの簡単な回答がありました。時間もせまり、ここで閉会しました。

同日16:30より四谷の主婦会館プラザエフ9階にて民間教育団体連絡協議会設立記念パーティーが開かれました。私塾ネットからは、仲野十和田理事長と中村が参加いたしました。

民間教育団体連絡協議会は今回以下の五団体を中心に設立されました。①一般社団法人全国外国语教育振興協会②公益社団法人全国学習塾協会③一般社団法人全日本ピアノ指導者協会④一般社団法人日本スイミングクラブ協会⑤民間語学教育事業者協議会

趣旨としては、特定の民間教育団体並びにその業界を越えて、子供たちの未来のために考え方行動するための協議会で、民間教育団体ならびに民間教育事業者のプラットフォームを目指し、民間教育に関わる多くの人々のネットワークを形成し、様々な教育課題について情報共有や意見交換などを活発に進め、民間教育を取り巻く諸課題の解決や民間教育全体の発展の一助となるよう行動するという会です。

この幹事長の公益社団法人全国学習塾協会会長安藤大作氏のご挨拶から始まりました。下村博文衆議院議員や大島九州男参議院議員、関係官僚の方たちの出席もあり、80名以上の参加がありました。塾団体も公益社団法人全国学習塾協会、全国学習塾協同組合、NPO法人学習塾全国連合協議会、埼玉県私塾協同組合団体、民間教育連盟、全日本私塾教育ネットワークと団体の垣根を越えて集まりました。パーティーは、18:00まで和やかに盛大に開かれました。



## 塾団体合合同忘年会レポート

エリア関東総務部長 長江 広紀

12月2日、平成最後の塾団体合同忘年会が銀座ライオンで行われました。私は昨年に引き続き実行委員として携わりました。私塾ネットからは、渡辺浩先生（人間教育渡辺塾）と村社圭一先生（向学館）、鈴木学（デザインオフィスズキ）さんが実行委員として加わりました（実行委員長はNPO塾全協の山本太志先生）。

私は銀座ライオンの下で、寒風宇吹きすさぶ中、鈴木学さんとランズリー先生とパンフレットを手に会場へ誘導をしました。ランズリー先生はハワイ出身の英語教師で、初対面。英会話を楽しみました。ところが、英語を教えていながら、英会話で悪戦苦闘。その後、鈴木さんと「これから英語で会話しましょう」と拙い英会話ごっこが始まりました。私は「最近『ボヘミアンラプソディー』という映画を見て感動したこと。それ以来クイーンを聞き直していること」などを話しました。そんなお遊びをしていると、ランズリー先生がやってきて、

流ちような日本語で「そろそろ終わりでいいんじゃないですか」と。ああ日本語話せるんですか…。

会場では、余興が始まっていました。恒例となった7秒スピーチでは、「下手な見本を会場に見せてくれ」私に依頼があり、マイクを手に壇上で7秒スピーチすることになりました。ところが、いざストップウォッチを見せられると慌ててしまい、高速で話してしまいました。「ヒロにそれは求めていない」と言われました。

続いて、渡辺先生による「白ひげ危機一髪」コーナー。ナイフを刺して、人形が飛ぶゲームです。いつもはコンビを組む柳田先生が今年は不在のため、私に相方の指名がありました。流ちょうな渡辺先生の進行について行けず、ただナイフを刺す間に「ガラガラアラガラ」と発するばかり。笑いを取ったのは、冒頭理想の低い私のタイプを「石田ゆり子」と言うくだり。まだまだ勉強が足りません。

私塾ねつと誌上句会 第三十四回

池埋めて二度と映らぬ冬の月

中村直人  
(神奈川県)

大根を抜きて富士山仰きけり  
聖護院かぶら京より届きけり

長江勝秋  
(神奈川県)

かは句一  
な、の茶  
つ甲大の根  
斐根白  
しかのは  
駿河の木  
か富士を見  
方に出来  
つた思  
いだる所

あつたか。なんだ

初場所に進退かけて綱を去る平成や誰が弓引く大石忌

木内恭裕

かが、そういうでもないようだ。我々にと  
千秋から始まり柏鵬そして輪湖の時代。  
樂で雌雄を決するという図が上

相撲世代は、若者に譲らず、若者

谷村志厚  
(千葉県)  
友ありて立春大吉酒を汲む  
海坂の丸く明けるや春はあけぼの  
今年2月4日、立春の日に絞つたといふ生酒を贈つてくれた知人が  
いる。塾の仕事仲間としてお知かづきだが、  
より気心のしれ合いでいきをしつけていた。大学時代に愛飲家といふ点で  
の造り酒屋の御曹司がいた。その蔵でついていた。まだ二十歳にも満たぬ頃であつた。これ  
なるものを見た。日本酒との初めての出会い。以来半世紀、よくまあ我が肝臓、腎臓、  
は働いてくれたのだ。まさに肝腎、肝心、歓心、感心。

編集部からお願い  
次号は5月中旬発行の秋号です。  
投稿句はお一人3句まで新春・春季語でお願いします。  
投稿はメールt-shiko.1949@aim-net.co.jpまたは  
FAX047-368-2189 谷村和也  
締切は4月30日です、ふるいて「投稿ください」。

閑話休題（編集後記）

編集長 谷村志厚

誌面の都合で当欄はこんな窮屈な位置に追いやられた。まさに窓際族（古いな、この表現も）の心境である。それはさておき、声の教育社の名物専務小泉邦人さんが急逝された。昨年11月27日のことだ。明けて1月21日、市ヶ谷アルカディア（私学会館）でお別れの会が執り行われた。いささかお付き合いがあったので、平日の夜という塾営業時間ではあったが出席させていただいた。この日の参会者は約400名と聞いた。私学関係が8割、塾と企業関連が2割といったところだろうか。こういった趣旨の会としては珍しく

も、賑やかにして盛大なものであった。人気者であった小泉さんを送るにふさわしい会であった。小泉さんとの一番の思い出は、彼をディズニーランドにお連れしたことだ。いまから20年も前のこと。ディズニーランドは初めてとのことで、当時還暦を過ぎていた大の大人が、嬉々としてアトラクションを楽しめていたことを思い出す。

またお一人、戦後の塾社会を知る生き証人が鬼籍に入られた。昭和から平成へそして新元号へ、戦後生まれの「みかづき塾」の終焉を、象徴しているように感じたのは私一人であろうか。合掌。

# 私塾ネットセンター 事務局通信



事務局長 鈴木 正之(いぶき学院)

生まれて初めて大相撲を生で見ました。小学生の頃から相撲ファンの私は、当時テレビ観戦を毎日欠かさず、星取表を自分で作って記入し、学校へ行けば友達と相撲の話題で盛り上がり、相撲を取って遊んでいました。東京に出てきて40年、移り住みはしましたが両国はすぐに行ける場所。それなのに1度も生観戦したことがありませんでした。観戦日は1月13日の初場所初日。その後、横綱稀勢の里が引退、横綱鶴竜と大関栃ノ心が休場となつた事を考えると、横綱大関が全員そろう初日はラッキーだったです。稀勢の里の四股名入りの番付もゲット！良い思い出、そして良い記念になりました。

実際に国技館で相撲を見て興味深かったことは、テレビでは解らない力士以外の人たちの動きでした。行事や呼出の方々のテレビ画面から外れている部分を、全部丸ごと見ることができました。力士の皆さんにはテレビで見る時と同じ仕草で相撲を取り、正直なところテレビ観戦の方が見やすいかもしれません。しかし、それ以外の方々の動きは見られません。さらに、臨場感に味わいがあります。観戦する側は、簡単に手に入らないチケット入手し、決して安くない入場料を支払い、わざわざ足を運びます。そこで期待するものは、最強力士の勝利はもちろんですが、“いい相撲”につきます。“いい相撲”、横綱の圧倒的な相撲や白熱した力相撲、切れ味鋭い技が光る相撲、力尽きるまで取り切った感動

の相撲・・・。

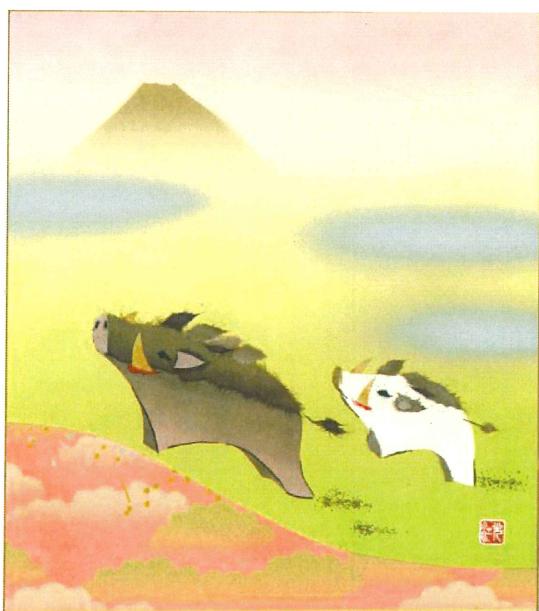
「土俵の充実」と良く日本相撲協会が言いますが、我々学習塾も決して安くないお金をはらい、わざわざ来てくれる子供たちに“いい授業”をして「塾の充実」を図りたいものです。

さて、首都圏では学習塾団体合同忘年会が12月2日に銀座ライオンで開催されました。干支ごとにテーブルが用意されていて、参加者が自分の干支のテーブルにつくという手法。誰が考えたかわかりませんが面白いアイデアでした。

また、議員連盟に関わる動きもあります。現在学習塾に関する議員連盟が2つありますが、20年前は国が決めたことに合わせて学習塾を経営してきたのですが、今や我々の発想や要望を聞いてくれる時代となったわけです。しかも、それが実現できる可能性がある時代となりました。これも諸先輩の先生方のご功績であると思う。この機会を逃さずに、子供たちの将来、日本の未来のために活かしていくたいものです。私塾ネットもコンソーシアム協議会、学習塾合同会議を通して発言の機会があります。さらに、議員連盟へも参加（その場での発言は難しい）することもできます。現在のところ、動き始めはおりますが、まだまだ議論の段階と言う認識です。今後、皆様からのご意見をいただきながら、これらに関するご報告をさせていただきたいと思います。

最後になりましたが、2019年皆様のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

猪突猛進。「後先を考えずに突き進むこと」「がむしゃらに行動すること」。どうもこの四字熟語は、あまりいい意味でつかわれることはないようだ。猪武者という言葉もある。むこうみずに敵に突進する武者＝無茶の奴の意だが、これも猪の一字の修飾で勇猛な武者も評価が下がってしまう。類義の四字熟語に一意專心「他のことは考えずにそのことだけに集中すること」が挙げられるが、これはいい意味で使われる例だろう。一意專心といえば、大相撲の若乃花大関昇進伝達式の口上で記憶されている方もあるう。大相撲が貴花ブームのころ、伝達式の口上で四字熟語が流行ったことがあった。若乃花の横綱昇進時には、堅忍不拔とヒートアップした。弟子の貴乃花はどうであつたろうか。大関昇進時は不撓不屈、横綱のおりは不惜身命と口上を述べた。困難にあつてもくじけず、他のことに目をくれず頑張ると宣言したのだが…。ご承知の通り彼は角界から姿を消した。他のことに目をくれなかつたことの結果だろうか。猪突猛進を地で行くことになつたというわけか。（谷村）



初夢ややれ改革と猛進し（直人）

ちぎり絵歳時記⑫（猪）作画・中村光江

## 賛助会員一覧（順不動）

<b>関東国際高等学校</b>	村山サンドラー先生 TEL03-3376-2244
東京都渋谷区本町3-2-2	
<b>江戸川学園取手中学高等学校</b>	竹澤 賢司先生 TEL0297-74-8771
茨城県取手市西1-37-1	
<b>東洋高等学校</b>	石井 和彦先生 TEL03-3291-3824
東京都千代田区三崎町1-4-16	
<b>桜丘中学高等学校</b>	高橋 知仁先生 TEL03-3910-6161
東京都北区滝野川1-51-12	
<b>聖徳大学附属女子中学高等学校</b>	川並 芳純先生 TEL047-392-8111
千葉県松戸市秋山600	
<b>麹町学園女子中高等学校</b>	大野 博人先生 TEL03-3263-3014
東京都千代田区麹町3-8	
<b>春日部共栄中学高等学校</b>	宇野 稔弘先生 TEL048-737-7611
埼玉県春日部市上大増新田213	
<b>東京立正中学高等学校</b>	安原 正樹先生 TEL03-3312-1111
東京都杉並区堀ノ内2-41-15	
<b>八雲学園中学高等学校</b>	横山 孝治先生 TEL03-3717-1196
東京都目黒区八雲 2-14-1	
<b>関東第一高等学校</b>	小口 真一先生 TEL03-3653-1541
東京都江戸川区松島2-10-11	
<b>武蔵野中学高等学校</b>	後藤 伸一先生 TEL03-3910-0151
東京都北区西ヶ原4-56-20	
<b>和洋国府台女子中学高等学校</b>	和田 伸平先生 TEL047-371-1120
千葉県市川市国府台2-3-1	
<b>東洋大学付属京北学園</b>	杉原 米和先生 TEL03-5948-9113
東京都北区赤羽台1-7-12	
<b>大森学園高等学校</b>	増田 宇先生 TEL03-3762-7336
東京都大田区大森西3-2-12	
<b>東京成徳大学中学高等学校</b>	野中 修也先生 TEL03-3911-2786
東京都北区豊島8-26-9	
<b>日本工業大学駒場中学高等学校</b>	河村 文夫先生 TEL03-3467-2130
東京都目黒区駒場1-35-32	
<b>青稜中学高等学校</b>	伊東 充先生 TEL03-3782-1502
東京都品川区二葉1-6-6	
<b>東京女子学園</b>	実吉 幹夫先生 TEL03-3451-6523
東京都港区芝4-1-30	
<b>駒込中学高等学校</b>	河合 孝允先生 TEL03-3828-4141
東京都文京区千駄木5-6-25	
<b>愛国中学高等学校</b>	高橋 英夫先生 TEL03-3658-4111
東京都江戸川区西小岩5-7-1	
<b>安田学園中学高等学校</b>	磯 正樹先生 TEL03-3624-2666
東京都墨田区横綱2-2-25	
<b>日本音楽高等学校</b>	伊庭 崇先生 TEL03-3786-1711
東京都品川区豊町2-16-12	
<b>立正大学付属立正中高等学校</b>	今田 正利先生 TEL03-6303-7683
東京都大田区西馬込1-5-1	
<b>上野学園中学高等学校</b>	高橋公美子先生 TEL03-3842-1021
東京都台東区東上野4-24-12	

## 二松学舎大学付属高等学校

東京都千代田区九段南2-1-32

## 村田女子高等学校

東京都文京区本駒込2-29-1

## 自由学園（中等部・高等部）

東京都東久留米市学園町1-8-15

## 京華学園

東京都文京区白山5-6-6

## 武蔵野大学千代田高等学院

東京都千代田区四番町11

## 目黒日大中学高等学校

東京都目黒区目黒1-6-15

## 共栄学園中学高等学校

東京都葛飾区お花茶屋2-6-1

## 中村中学校・高等学校

東京都江東区清澄2-3-15

## 東京女子学院中学高等学校

東京都練馬区関町北4-16-11

## 文教大付属中学高等学校

東京都品川区旗の台3-2-17

## 国際高等専門学校

石川県金沢市久安2-270

車田 忠繼先生

TEL03-3261-9288

二渡 道雄先生

TEL03-5940-4455

更科 幸一先生

TEL042-422-3111

今野 巍先生

TEL03-3941-6493

渡部 隆巳先生

TEL03-3263-6551

天野 正貴先生

TEL03-3492-3388

松宮 博先生

TEL03-3601-7136

富田 義道先生

TEL03-3642-8041

宗内 信二先生

TEL03-5903-9559

神戸 航先生

TEL03-3783-5511

松尾 多郎先生

TEL076-248-1080

## 株創開コミュニティー

小林 和光様

TEL04-7164-6511

山田未知之様

TEL03-3987-0838

板橋 玲様

TEL03-6865-6380

鈴木 学様

TEL04-7164-8276

稻垣 憲之様

千代田区富士見町2-11-11 峰ビル3F TEL03-5275-2101

栗原 慎吾様

千代田区東神田2-1-8秋葉原クロスサイト TEL03-6265-0951

加藤麻由美様

TEL03-6265-6855

樋上 聰様

TEL048-447-7457

糸井 幸男様

TEL03-3304-5321

谷村 紀嗣様

TEL03-3304-5321

添田 大亮様

TEL03-5468-6986

中村 千尋様

TEL03-5261-5061

坂尻 俊樹様

TEL03-3484-1212

## 株式会社ナイス

横浜市都筑区中川1-20-1

## (株)クロノクリエイト

渋谷区神宮前5-52-2 青山オーバルビル

## (株)声の教育社

新宿区新小川町8-15

## エスディーエムコンサルティング(株)

調布市入間町1-31-23